



# 生まれた／一番星



雨野 小夜美

## 生まれた

---

朝起きて

羽ばたくための服を着る

流行を追うブサイクだったのは過去の話

今日もきっと何も起こらないわ

でも 何か起こるかもって 楽しみにしている

そんなにメイクはしないかな

眉毛だけはしっかり強く描くのよ

他人の生き方に流されないように

何か起こるかもって

楽しみにしている時間が 一番楽しいのだとしても

この楽しさは 止められない

ベイビー

私は26歳で生まれたわ

ノートもキャンバスも無いところにだけ 落書きしたくなるのよ

年を重ねて 残り時間が減っていきなんて

思わない 思えない

26歳になるまでは

「本当の自分」というのをさがし続けたわ

テレビや雑誌の立ち読み

そして見つけた

本当の自分は ここにしかない

大事なものは 生活

生活は 誰にもまねできないアート

残り時間というものは

減っていくのではなく 濃くなっていくもの

洗濯は毎日するわ

髪は2日に1回 洗うわ

服がどれだけ 色あせていこうと

手に入れた自分は あせていかない

26歳になった夏

自分から 羽を授かったあの雨の日 あじさいの下

マダムになったって

私は悪ガキだと思うんだよ

今日もきっと 何も起こらないわ

洗濯終わったら

何か起こしてみせるから 楽しみに待っていて

ベイビー

私は26歳で生まれたわ

羽を授かる前の人生なんて

自分が自分でない人生なんて 生まれていないのと同じよ

ベイビー

私は大人として生まれたわ

今は 後悔も反省もしていない

## 一番星

---

ベッドの中に 一番星 見つけたよ  
オブラートのシーツの中に くるまれているよ

部屋を暗くすれば するほど光るよ  
オブラートの中で 両手のかげの中で

有名人になったときの インタビューを妄想してた  
6畳の部屋で 昼は掃除機かけてた  
サインの練習とか 延々としてた  
間違っってそんな筆記体

部屋の中を もっと暗くするよ  
もう寝るから スタンドライトも消すよ

ベッドの中に 一番星 涙くらい光るよ  
両手で とじこめようとするよ

触れたとたんに 消えてしまうよ  
部屋が本当に 真っ暗になるよ

涙くらい光るよ 流れるかぎり光るよ  
とじこめようとするよ 消えてしまうよ

涙くらい光るよ 数えるかぎり光るよ  
冷たいのは星だよ 消えてしまうよ

有名人になったときの 写真のポーズとか考えていた  
内股で映りたくないな 顔はちょっと横向けて  
掃除が終わったら 夜が来るまで体操座り  
サインの練習を やっぱりしてた

つまらなくて わけがわからなくて  
ペンを放り出して オブラートのシーツ蹴っとぼして

夜の散歩っていう 嘘をついた

そして見つけたんだ 一番星

ベッドの中の一番星なんて きっと涙だよ  
外へ出て 現実世界の星を 追いかけてよう

ちょっと寒いよ  
知らないよ 走るよ  
届かないよ  
一番星を追いかけて  
立ち並ぶ看板 夜の街 階段を下りて

一番星  
あきらめれば あきらめるほど光るよ  
あきらめないかぎり光るよ  
涙くらい光るよ  
流れるかぎり光るよ  
現実の中で 光りたいよ

## 生まれた／一番星

<http://p.booklog.jp/book/109188>

著者：雨野 小夜美

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tinycolor/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/109188>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/109188>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ